

An aerial view of a city with a digital map overlay. The map shows various buildings and streets. A yellow rounded rectangle is overlaid on the map, containing the title 'Dear Tree Project' and its subtitle '(街路樹デジタルマッププロジェクト)'. Below the yellow rectangle, the text 'TOKYO PARALLEL GUIDE' and '-IDEAS for Meaningful City-' is visible. The background is a light blue and white color scheme, representing a digital map or a 3D model of a city. The trees are represented by green, rounded, 3D models with brown trunks, scattered across the city area.

Dear Tree Project

(街路樹デジタルマッププロジェクト)

TOKYO PARALLEL GUIDE

-IDEAS for Meaningful City-

プロジェクト概要

街路樹デジタルマッププロジェクト

名もなき街の緑には、実はその街に住む人たちとの物語がある。一方で、公共の緑の維持管理を担うのは基本的には行政、その存続を左右するのもまた彼らであり、時にはその物語に光が当たらないまま伐採されたり、植え替えられたりすることもある。

市民の暮らしやすい場づくりは、空間を新しく作り替えることが全てではないであろう。街の緑に関する意識や関わり方をもっとオープンに、かつ市民が「見守る」ことができる新たな仕組みを作ることで、市民や地域社会にとって「意味のある緑」を公民連携して持続可能に維持管理していくことができないか。

そんな課題意識から、誰でも参加でき、街の緑に思いを馳せることができるオンライン上の街路樹デジタルマップを制作するプロジェクトを実施したい。ニューヨーク市では「Street TreeMap」と称し、街中の街路樹総数、樹種、幹の直径、大気汚染物質除去量などのインタラクティブなデータベースを構築している。

Dear Tree Project は、まずは、地域の街路樹マップを実験的なプラットフォームとして構築する。将来的には、この成果を元に、長期的な運用ができる方法も合わせて検討していく。

Dear Tree Project ～街路樹デジタルマッププロジェクト～

名もなき街の緑には、実はそれぞれその街に住む人たちとの物語がある。一方で、公共の緑の維持管理を担うのは基本的には行政、その存続を左右するのもまた彼らであり、時にはその物語に光が当たらないまま伐採されたり、植え替えられたりすることもある。

市民の暮らしやすい場づくりは、空間を新しく作り替えることが全てではないであろう。街の緑に関する意識や関わり方をもっとオープンに、かつそれらを市民が「見守る」ことができる新たな仕組みを作ることで、市民や地域社会にとって「意味のある緑」を公民連携して持続可能に維持管理していくことができないか、それが本質的な暮らしやすさに繋がるのではないか。

そんな課題意識から、誰でも参加でき、街の緑に思いを馳せることができるオンライン上の街路樹デジタルマップを制作するプロジェクトを実施したいと考える。ニューヨーク市では「Street Tree Map」と称して、街中の街路樹総数、樹種、幹の直径、大気汚染物質除去量などを正確に表示する、インタラクティブなデータベースを構築した。ユーザーはお気に入りの樹木をブックマークし生態活動を追跡したり、樹木のもたらす二酸化炭素削減に対する意識の向上や森林保護活動、植樹活動推進への貢献が期待されている。

Dear Tree Projectは、まずは、地域の街路樹マップを実験的なプラットフォームとして構築する。将来的には、この成果を元に、長期的な運用ができる方法も合わせて検討していく。



■目指す姿

街の人と自然環境や公共空間との関係性を深めていくことを目的とする。

ササハタハツエリアの象徴的・個性的な資源である玉川上水旧水路緑道など豊富な自然環境との関係や知識を深める機会を提供する。これによって、都市での暮らしに街の緑を体感する時間を取り入れたり、地域の多様な人々とのつながりや自発的な活動を生み出すことに繋がることを目指す。

こうした能動的な行動が生まれることによって、本質的なエリアの持続可能性を育てると考える。



写真引用：渋谷区「玉川上水旧水路緑道 基本構想」

<PROCESS>

Research

フィールドリサーチを通して、地域の緑に関する量的・質的データの情報収集を行う。植栽データは、ランドスケープの専門家等と協力して行うことを想定し、物語データは、市民との対話より収集することを想定する。

- ・ 緑データ（行政データなど）
- ・ 植栽データ（種類・状態・生態系）
- ・ 物語データ（WS・インタビュー） など

Edit

収集した情報の整理を行う。特に、物語データについては、チーム内に編集部を立て、街の緑の物語りを、色々なテーマなどから切り取っていく。

- ・ 名もなき緑一つ一つの詳細データ
- ・ その木の思い出、偏愛の物語
- ・ その木に名前をつけるとしたら
- ・ 見えない管理者たちの木への想い など

Development

誰でも参加でき、街の緑に思いを馳せることができるオンライン上の街路樹のデジタルマップを開発。Research・Editにより収集・編集した情報を公開する。※アウトプット・イメージは次ページ

街の緑に関する意識や関わり方をオープンに、市民が「見守る」ことができる仕組みを作ること、市民や地域社会にとって「意味のある緑」が増えていく。街の人と地域の自然環境との関係性が深まり、緑を感じる生活が増え、持続可能な街の緑の社会システムを培うことに貢献する。

<これまでの取り組み>

これまでチームメンバー石川が、ランドスケープデザイナー Bilik Oferと共に、ササハタハツ緑道を対象にしたランドスケープリサーチ取り組んでいる。このリサーチにより緑道エリアのポテンシャルを場所ごとに洗い出した。Dear Tree Projectにより、こうしたリサーチデータなども活かし、市民が誰でもオープンに関われる仕組みを構築していく。



THE SASAHATAHATSUGAWA GREENWAY is an outdoor recreational place on the Sasahatahatsugawa Greenway. It is a place where people can enjoy the view of the greenway and the surrounding area.



PARK ENTRANCE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



YAMAGUCHI COMMUNITY SPACE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



YAMAGUCHI ENTRANCE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



SASAHATAHATSUGAWA GREENWAY is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



GREENWAY ENTRANCE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



YAMAGUCHI SQUARE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.



YAMAGUCHI ENTRANCE is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area. The public entrance is a good location for the public entrance that might be used as a starting point for the surrounding area.

<街路樹デジタルマップ>

フィールドリサーチによって収集した様々な緑のデータをデジタルマップ化し、オンラインで公開。

基本的な緑の情報から、専門的な植栽の情報などと合わせて、名もなき緑に関する物語りを掲載していくことで、「意味のある緑」を増やしていく。

オンライン上で公開し、緑に関する情報を知ることができるとともに、誰でも街の緑に思いを馳せることができるプラットフォームとなっていく。

※まずは短期的な実験として、チームによる情報収集をベースに構築する。長期的には、市民も投稿できるインタラクティブなデジタルマップにすることで、より良いシステムとなると考える。



ある緑をクリックすると、緑の基本情報や専門情報を見ることができる。合わせて、この緑にまつわる物語りを読むことで、名もなき緑に思いを馳せることができる。また、緑の管理や再整備などの際、市民の内なる声として、参考情報として活用できる。



Dear Tree Project 試作版を制作。
3Dマップデータに様々な緑の情報をビジュアル化する。
オンライン上で公開することで、誰もが地域の緑を知ることができる。



一見すると名もなき緑にも、市民や関係者にとって、様々な物語りがある。こうした物語りをみたり、インタラクティブに投稿することで、「意味ある緑」を増やしていくとともに、街の自然環境との関係性を深めていく。

<参考事例>



チームメンバー石川が、オランダで行ったプロジェクト。開発エリアにおける市民の声を、オンライン上で、インタラクティブに投稿できるプログラムを開発。一般的な市民意見とは違った、素朴で本音を含む多くの声が投稿されている。



街路樹の大気汚染物質除去量を可視化するデータベース「New York City Street Tree Map」。ユーザーはマップから任意の位置を選び、エリア総数もしくは樹木1本1本の個別単位で各数値を確認できる。

引用：知財図鑑 <https://chizaizukan.com/property/484/>

MEANINGFUL CITY

「価値」ではなく、
「意味」から都市を見つめ直す

TOKYO PARALLEL GUIDEは、都市計画・街づくりに関わる「作り手」と、街を舞台に活動する「使い手」のコミュニティや街づくりへの関わり方の分断に対する問題意識から、両者一緒に理想の都市を考え、コミュニティとしての融和を目指す活動体としてスタート。

これまでの都市の作られ方が最大公約数的な「価値」に主軸が置かれていたことに対し、その都市に関わる個々人がそれぞれの「意味」を紡いでいける場として都市を捉え直すとする「MEANINGFUL CITY」というコンセプトを掲げ、イベントやマガジン出版等の活動を行う。2021年5月にMEANINGFUL CITY MAGAZINE Vol.1を発行。

MAGAZINE発行を起点にしつつ、「意味の紡がれる都市」と広がっていくために、「作り手」と「使い手」により一緒に理想の都市を描くセッション企画や、都市生活者の「物語り」に着目したリサーチ・研究開発などへ拡大して活動に取り組んでいる。

“DEAR TREE PROJECT” - CORE MEMBER

石川 由佳子

アーバン・エクスペリエンス・デザイナー / for Cities代表
/ Good News for Cities

ドイツで暮らしていた経験から都市のあり方や人の営みが起こる“源”に関心を持ち、ボトムアップ型の都市づくりをテーマに活動を行う。体験をつくることを中心に「場」のデザインプロジェクトを国内外で手がける。

中村 拓朗

フリーランスデザイナー

2020年慶應SFC卒。大学では脳波と機械学習を用いた記憶されやすい画像生成の研究を行う。現在はフリーランスデザイナーとして、主にUXデザインやマーケティング戦略に従事。

山崎 正樹

日本大学客員研究員

大学・大学院で都市開発と公共空間の研究を行い、2010年森ビル入社。2019年から会社員傍ら、客員研究員として、都市のコミュニティ・文化・アイデンティティ創出に繋がる次世代の都市再生・都市開発の研究に取組む。

<TOKYO PARALLEL GUIDE - TEAM MEMBER>

大谷 省悟 301 プランナー／ディレクター／CEO

坂本 彩 フリーランス/プロデューサー

細川 紗良 301 プロジェクトマネージャー／コミュニケーションデザイナー

宮崎 悠 MY HEAD Graphic Designer + Director

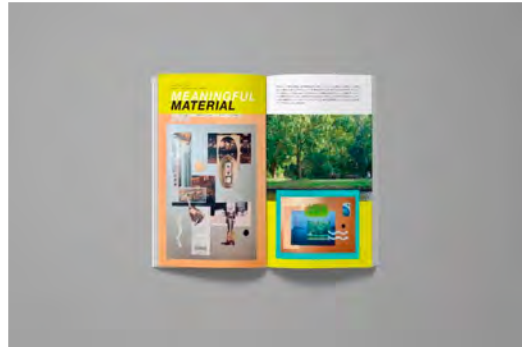
TALK SESSION

都市の業界を超えた「作り手」と「使い手」との
つながりを生み出すイベントの開催



MAGAZINE

「作り手」と「使い手」が両者一緒に、
意味を紡げる都市を模索していくマガジンを発行



RESEARCH

都市で生活する人々の「物語り」に着目した、
ミーニングフルシティを実現するための研究開発



今後、MEANINGFUL CITY RESEARCHの取
組みを展開し、アーバン・サイエンス等と
関連付けたりサーチ&研究開発や、プロジェク
ト活動に取り組んでいく予定。